

# 県立歯科衛生専門学校 2階污水管更新工事

## 図面リスト

図面NO.	図面名称	SCALE
M-00	タイトル、図面リスト	
M-01	機械設備工事特記仕様書(1)	
M-02	機械設備工事特記仕様書(2)	
M-03	付近見取図、配置図、工事概要	1/200
M-04	1階、2階平面図	1/200
M-05	2階トイレ配管図、1階トイレ天井伏図	1/50

鳥取県  
令和7年度  
J2501739  
東部建築住宅  
事務所

有限会社 福田設備設計

〒689-1115 鳥取市紙子谷10番地4 TEL:0857-51-8240 FAX:0857-53-4669

管理建築士  
一級建築士 第376077号 福田洋之  
担当者  
設備設計一級建築士 第5962号 福田洋之

CHECK

DRAW

県立歯科衛生専門学校 2階污水管更新工事

福田

福田

タイトル、図面リスト

SCALE

No M-00

DATE



一般共通事項	21 鋼管類の防食処置	地中埋設 <ul style="list-style-type: none"> <li>● ベトロラム系</li> <li>● プレチゴム系</li> <li>● 熱収縮チューブ及びシート</li> </ul>																								
	22 絶縁継手	● 標準図（施工3） <ul style="list-style-type: none"> <li>● (1)絶縁フランチ</li> <li>● (2)絶縁シート</li> <li>● (3)絶縁スリーブ</li> <li>● (4)絶縁ユニオン</li> </ul>																								
	23 防振継手	※ 合成ゴム製（球形） <ul style="list-style-type: none"> <li>● ポリテトラフルオロエチレン製</li> <li>● ペローズ形（ステンレス製）</li> </ul>																								
	24 伸縮管継手	※ ペローズ形 <ul style="list-style-type: none"> <li>● スリーブ形</li> </ul>																								
	25 塗装	各種機材のうち、下記の部分は塗装しない。（さび止め塗装は除く。） (ア)埋設されるもの（ただし、防食塗装部分を除く） (イ)垂鉛めっき以外のめっき仕上げ面 (ウ)垂鉛めっきされたもので、常時隠べいされる部分 (エ)垂鉛めっきされた金属電線管、鋼製架台及び支持金物類 (オ)樹脂コーティング等を施したもので、常時隠べいされる部分 (カ)カラー垂鉛鉄板面 (キ)アルミ、ステンレス、銅、溶融アルミニウム-垂鉛鉄板面、合成樹脂製等、特に塗装の必要を認められない面 (ク)特殊な意匠的表面仕上げ処理を施した面 (ケ)主・各階機械室内等及び電気室内の垂鉛めっきされた露出ダクト及び露出配管 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 上記及び標準仕様書によらず塗装を施す部分・箇所（ ）</li> </ul>																								
	26 ステンレス鋼管の接合方法	呼び径60S u以下の継手は、S A S 3 2 2を満足するものとする。																								
	27 溶接配管の検査	● ガス配管 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 冷温水配管</li> <li>● 冷却水配管</li> </ul> 非破壊検査の適用（ <ul style="list-style-type: none"> <li>● 放射線透過検査</li> <li>● 浸透探傷検査又は磁粉探傷検査</li> </ul> ） 抜取率（ <ul style="list-style-type: none"> <li>● 標準仕様書による</li> <li>● %</li> </ul> ） ● 地中埋設機を明示する箇所に設ける。（ <ul style="list-style-type: none"> <li>● ガス管</li> <li>● 屋外給水管</li> <li>● </li> </ul> ） ポンプ、屋外設置機器及びピット内に使用するアンカーボルト、ナットはSUS304製とする。 屋外及びピット内の配管、ダクトに使用する支持金物等はステンレス製または溶融垂鉛めっき仕上げとする。 下記事項の総合調整を行い、測定結果を監督職員に提出する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 温度</li> <li>● 湿度</li> <li>● 風量</li> <li>● 騒音</li> <li>● 水量</li> <li>● 浄化槽放流水質</li> <li>● 風速</li> <li>● じんあい</li> <li>● 飲料水水質（ <ul style="list-style-type: none"> <li>● 一般飲料水適否検査</li> <li>● 残留塩素測定</li> </ul> ）</li> <li>● その他水質等（ <ul style="list-style-type: none"> <li>● 雑用水</li> <li>● 空調用流体</li> <li>● </li> </ul> ）</li> </ul>																								
	28 埋設表示	● 埋設表示用テープを埋設する。（ <ul style="list-style-type: none"> <li>● ガス管</li> <li>● 屋外給水管</li> <li>● </li> </ul> ）																								
	29 支持金物・固定金具	ボルト、屋外設置機器及びピット内に使用するアンカーボルト、ナットはSUS304製とする。 屋外及びピット内の配管、ダクトに使用する支持金物等はステンレス製または溶融垂鉛めっき仕上げとする。 下記事項の総合調整を行い、測定結果を監督職員に提出する。																								
	30 総合試運転調整	● 温度 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 湿度</li> <li>● 風量</li> <li>● 騒音</li> <li>● 水量</li> <li>● 浄化槽放流水質</li> </ul> ● 風速 <ul style="list-style-type: none"> <li>● じんあい</li> <li>● 飲料水水質（ <ul style="list-style-type: none"> <li>● 一般飲料水適否検査</li> <li>● 残留塩素測定</li> </ul> ）</li> <li>● その他水質等（ <ul style="list-style-type: none"> <li>● 雑用水</li> <li>● 空調用流体</li> <li>● </li> </ul> ）</li> </ul>																								
31 アスベスト含有建材の処理	公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編） 9章 環境配慮改修工事 1節 石綿含有建材の除去工事による。処理を行うアスベスト含有建材の仕様等 <table border="1"> <tbody> <tr> <td>建材の内容・箇所</td> <td>仕様等</td> <td>処理を行う範囲</td> </tr> <tr> <td>内装材(天井材)</td> <td>岩綿吸音板</td> <td>図示(トイレ前の化粧室天井改修範囲)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> ※ 県有施設の石綿除去等に係る施工業者の登録制度による登録を受けている業者を活用するものとする。 ※ 官公署その他への手続きは、同じ仕様ほか、労働安全衛生法、大気汚染防止法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、石綿障害予防規則、鳥取県石綿健康被害防止条例等の関係法令に基づいて行う。 ● 施工調査（分析によるアスベスト含有建材の調査）を行う。 分析方法はJ I S A 1 4 8 1「建材製品中のアスベスト含有率測定方法」による。 ● アスベスト粉じん濃度測定を行う。 （測定時期： <ul style="list-style-type: none"> <li>● 測定場所： <ul style="list-style-type: none"> <li>● 測定点： <ul style="list-style-type: none"> <li>● </li> </ul> </li> </ul> ）  ● 洗浄設備（洗眼、うがいの設備）及び更衣設備等を設ける。  ● 作業場の養生として、処理場所をプラスチックシート等で囲い、外部への粉じん飛散を防止する。  対象箇所（ <ul style="list-style-type: none"> <li>● </li> </ul> ）  工事の施工に伴い既成部分を汚染又は損傷した場合は、既成にならい補修する。  既存のコンクリート床、壁などの配管貫通部の穴開けは、原則としてダイヤモンドカッターによる。  探査方法 <ul style="list-style-type: none"> <li>● ※電磁誘導式</li> <li>● 放射線透過検査</li> </ul> 実施する。  工事目的物及び工事材料等工事施工中の事故に伴う損害を補てんするため火災保険等に加入する。  （保険の加入期限は、工事完成引渡しまで[概ね工期+21日]とする。）  グリーン購入は次のものとする。  ● 空調用機器（ <ul style="list-style-type: none"> <li>● </li> <li>● 衛生器具（ <ul style="list-style-type: none"> <li>● </li> </ul> ）</li> <li>● 断熱材（ <ul style="list-style-type: none"> <li>● </li> </ul> ）</li> <li>● 配管材（ <ul style="list-style-type: none"> <li>● 再生硬質ポリ塩化ビニル管</li> <li>● </li> </ul> ）</li> <li>● その他（ <ul style="list-style-type: none"> <li>● </li> </ul> ）</li> </ul> </li></ul>	建材の内容・箇所	仕様等	処理を行う範囲	内装材(天井材)	岩綿吸音板	図示(トイレ前の化粧室天井改修範囲)																			
建材の内容・箇所	仕様等	処理を行う範囲																								
内装材(天井材)	岩綿吸音板	図示(トイレ前の化粧室天井改修範囲)																								
32 鳥取県公共工事環境配慮指針	対象工事																									
33 建築物省エネ法	対象工事																									
34 耐震施工	設備機器の固定は、次に示す設計用地震力に耐える方法とする。ただし、重量1kN以下の一般機器について、製造者の指定する固定方法を採用する場合は、この限りではない。 (1) 機器の据付け及び取付け 設計用水平地震力は、機器の重量（自由表面を有する水槽その他の貯槽にあっては有効質量）[kN]に、地域係数と次に示す設計用標準水平震度を乗じたものとする。 設計用標準水平震度 <table border="1"> <tbody> <tr> <td>設置場所</td> <td>機器種別</td> <td>● 重要な施設</td> <td>● 一般の施設</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">上層階 屋上、塔屋</td> <td>機器</td> <td>2.0</td> <td>1.5</td> </tr> <tr> <td>防振設置機器</td> <td>2.0</td> <td>2.0</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">中間階</td> <td>水槽類</td> <td>2.0</td> <td>1.5</td> </tr> <tr> <td>機器</td> <td>1.5</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">地階・1階</td> <td>水槽類</td> <td>1.5</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td>機器</td> <td>1.0</td> <td>0.6</td> </tr> </tbody> </table> 上層階の定義 2～6階建：最上階、7～9階建：上層2階、10～12階建：上層3階、13階建以上：上層4階 中間階の定義 地階、1階を除く各階で上層階に該当しないもの 重要機器 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 換気機器</li> <li>● 空調機器</li> <li>● 熱源機器</li> <li>● 防災機器</li> <li>● 監視制御設備</li> <li>● 危険物貯蔵装置</li> <li>● 火を使用する設備</li> <li>● 避難経路上に設置する機器</li> <li>● 水槽類（燃料小出槽を含む）</li> <li>● （ <ul style="list-style-type: none"> <li>● </li> </ul> ）</li> </ul> (2) 設計用鉛直地震力は設計用水平地震力の1/2とし、水平地震力と同時に働くものとする。 (3) 設備機器の耐震支持及びアンカーボルトの許容耐力と選定については、「建築設備耐震設計・施工指針2014年版」（一財）日本建築センター）を参考にする。	設置場所	機器種別	● 重要な施設	● 一般の施設	上層階 屋上、塔屋	機器	2.0	1.5	防振設置機器	2.0	2.0	中間階	水槽類	2.0	1.5	機器	1.5	1.0	地階・1階	水槽類	1.5	1.0	機器	1.0	0.6
設置場所	機器種別	● 重要な施設	● 一般の施設																							
上層階 屋上、塔屋	機器	2.0	1.5																							
	防振設置機器	2.0	2.0																							
中間階	水槽類	2.0	1.5																							
	機器	1.5	1.0																							
地階・1階	水槽類	1.5	1.0																							
	機器	1.0	0.6																							

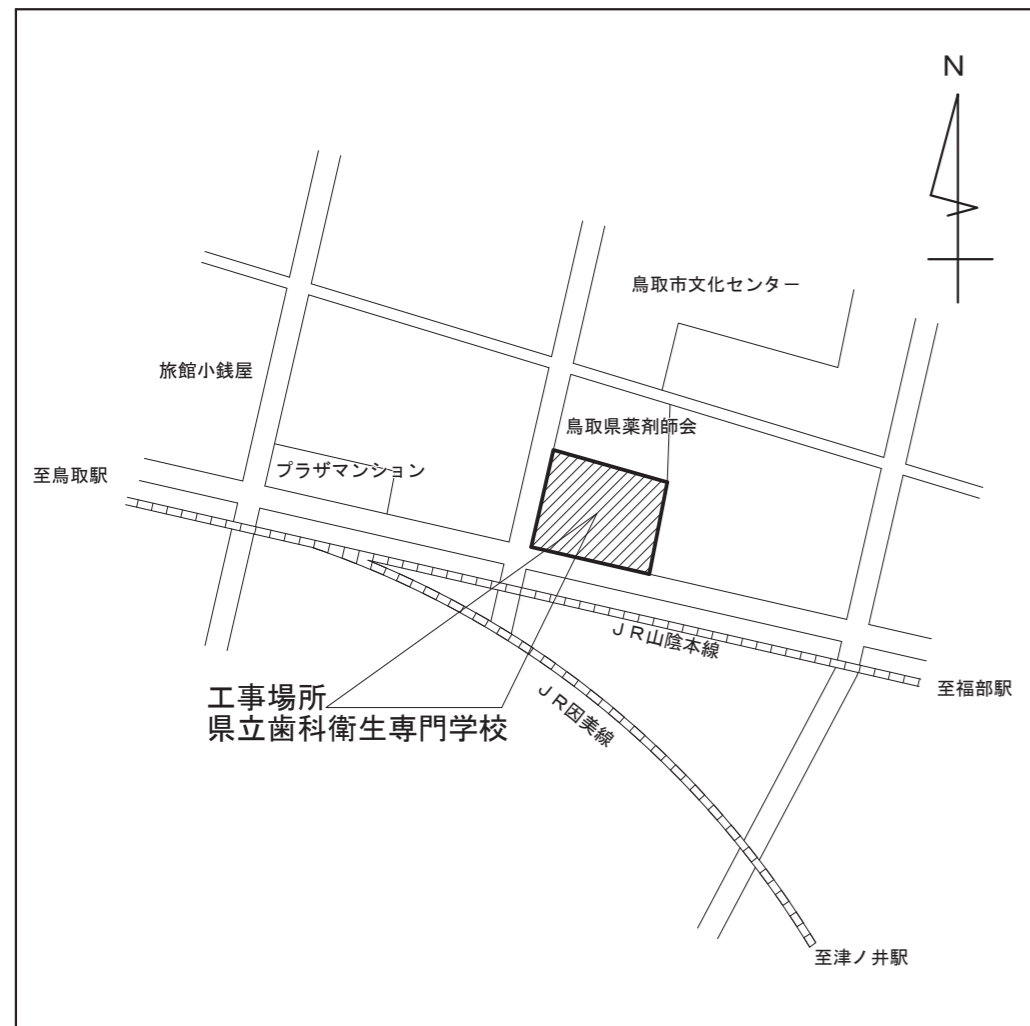
1 空気調和設備	1 設計用温湿度条件	<table border="1"> <tbody> <tr> <td rowspan="3"></td> <td rowspan="2">外気条件(目標値)</td> <td colspan="4">室内(調整目標値)</td> </tr> <tr> <td colspan="4">一般</td> </tr> <tr> <td>温度</td> <td>湿度</td> <td>温度</td> <td>湿度</td> <td>温度</td> <td>湿度</td> </tr> <tr> <td>(DB)</td> <td>(RH)</td> <td>(DB)</td> <td>(RH)</td> <td>(DB)</td> <td>(RH)</td> </tr> <tr> <td>夏季</td> <td>℃</td> <td>%</td> <td>28.0</td> <td>℃</td> <td>%</td> <td>℃</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>冬季</td> <td>℃</td> <td>%</td> <td>19.0</td> <td>℃</td> <td>%</td> <td>℃</td> <td>%</td> </tr> </tbody> </table>		外気条件(目標値)	室内(調整目標値)				一般				温度	湿度	温度	湿度	温度	湿度	(DB)	(RH)	(DB)	(RH)	(DB)	(RH)	夏季	℃	%	28.0	℃	%	℃	%	冬季	℃	%	19.0	℃	%	℃	%
		外気条件(目標値)			室内(調整目標値)																																			
				一般																																				
		温度	湿度	温度	湿度	温度	湿度																																	
	(DB)	(RH)	(DB)	(RH)	(DB)	(RH)																																		
	夏季	℃	%	28.0	℃	%	℃	%																																
	冬季	℃	%	19.0	℃	%	℃	%																																
	2 冷却水管	※ SGP（白） <ul style="list-style-type: none"> <li>● SGP-V A</li> <li>● SGP-P A</li> </ul>																																						
	3 冷水・温水・冷温水管	※ SGP（白） <ul style="list-style-type: none"> <li>● SGP-H V A</li> <li>● ステンレス鋼管（SUS304）</li> </ul>																																						
	4 膨張・空気抜・補給水管	● 架橋ポリエチレン管（ファンコイル機器接続部に限る） <ul style="list-style-type: none"> <li>● ポリプテン管（ファンコイル機器接続部に限る）</li> </ul> ※ SGP（白） <ul style="list-style-type: none"> <li>● ステンレス鋼管（SUS304）</li> </ul>																																						
5 蒸気給気管	※ SGP（黒）																																							
6 蒸気還水管	※ S T P G 3 7 0 - S c h 4 0（黒） <ul style="list-style-type: none"> <li>● ステンレス鋼管（SUS304）</li> </ul>																																							
7 油・油用通気管	一般配管 <ul style="list-style-type: none"> <li>● ※ SGP（黒）</li> <li>● 地中配管 <ul style="list-style-type: none"> <li>● ※合成樹脂被覆鋼管</li> </ul> </li> </ul>																																							
8 冷媒管	※ 断熱材被覆鋼管 <ul style="list-style-type: none"> <li>● ステンレス鋼管</li> <li>● SGP-V B</li> <li>● 水道用フレキチューブ</li> </ul>																																							
9 空調用給水管	※ SGP（白） <ul style="list-style-type: none"> <li>● V P</li> <li>● ドレンホース</li> </ul>																																							
10 空調用排水管	※ 5 K <ul style="list-style-type: none"> <li>● 1 0 K</li> </ul>																																							
11 弁	※ 流量調整弁 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 定流量弁（ <ul style="list-style-type: none"> <li>● ダイアフラム式流量可変式</li> <li>● カートリッジオリフィス形</li> </ul> ）を取付ける。</li> </ul> (ア) 防煙ダンパー <ul style="list-style-type: none"> <li>● ※ 遠隔復帰式</li> <li>● 電気式</li> </ul> (イ) ビストンダンパー <ul style="list-style-type: none"> <li>● ※ 遠隔復帰式</li> </ul>																																							
12 ファンコイルユニット	※ 低圧ダクト <ul style="list-style-type: none"> <li>● 高圧1ダクト</li> <li>● 高圧2ダクト</li> </ul>																																							
13 ダンパー	● 長方形ダクト <ul style="list-style-type: none"> <li>● コーナボルト工法（ <ul style="list-style-type: none"> <li>● 共板工法(動作用電圧: 電圧40V以下)</li> <li>● O. 7 A以下とする。）</li> <li>● (長辺1500mmを超えるものはアングルフランジ工法とする。)</li> <li>● アングルフランジ工法</li> </ul> </li> <li>● 防火区画を貫通するダクトは、その貫通する部分の前後150mmを1.6mm厚鋼板製とする。</li> </ul> ボックス <ul style="list-style-type: none"> <li>● ※ 垂鉛鉄板製</li> <li>● グラスウール製</li> </ul> シーリングディフューザーの接続は、標準図（施工49）を参考とする。 接続するダクトの施工が困難な場所はフレキシブルダクトを使用してもよい。 線状吹出口には、（長さ+100）×300×300Hの接続チャンパーを設ける。 外壁に面するガラリにチャンパー等を設ける場合には、雨水等を自然に排出できるよう勾配をつける。 吹出口接続チャンパー及び図示したダクト並びにチャンパー類に内貼する。 内貼りチャンパー類の寸法は、外法寸法とする。 吹出口接続チャンパー以外の内貼りしたチャンパーには点検口（原則400×600）を取付ける。 形式はビート管式（コック付）とする。 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 着脱式</li> <li>● 固定式</li> </ul> 下記の箇所、若しくは図示により取付ける。 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 冷凍機類の冷水出口</li> <li>● 瞬間流量計</li> <li>● 測定用タッピング</li> <li>● 冷凍機類の冷却水出口</li> <li>● 瞬間流量計</li> <li>● 測定用タッピング</li> <li>● ボイラー又は熱交換器の温水出口</li> <li>● 瞬間流量計</li> <li>● 測定用タッピング</li> <li>● 冷温水ヘッダーの各送り管</li> <li>● 瞬間流量計</li> <li>● 測定用タッピング</li> <li>● ユニット形空調機の冷水水入口</li> <li>● 瞬間流量計</li> <li>● 測定用タッピング</li> <li>● メカニカル形 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 風速センサー形</li> </ul> </li> </ul> 機器付属以外の温度計 <ul style="list-style-type: none"> <li>● ※工業用バイメタル式</li> <li>● ガード付L形温度計</li> </ul> 空気溜りを生ずると思われる配管箇所には、必要に応じて操作の容易な位置に空気抜き弁装置を設ける。 <ul style="list-style-type: none"> <li>● ※ 手動</li> <li>● 自動</li> </ul> 自動空気抜き弁装置は標準図による。（施工38（g）） 機械室の手動式空気抜き配管の保温は分岐から2mの範囲とする。 トラップ形式はフロートボール式（床置型） <ul style="list-style-type: none"> <li>● ※ FRP製保温型</li> <li>● FRP製</li> <li>● SUS製</li> </ul> 材質及び厚さ <ul style="list-style-type: none"> <li>● SS400（※3.2mm</li> <li>● 4.5mm</li> <li>● SUS（※1.5mm</li> <li>● 2.0mm）</li> </ul> 煤煙濃度計 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 取付け</li> <li>● 取付けない</li> <li>● 取付座を付ける</li> </ul> 煤じん量測定口（80φ×2） <ul style="list-style-type: none"> <li>● ※ 取付け</li> <li>● 取付けない</li> </ul> 油面計はゲージ式（側圧計）とする。 据付け方法 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 標準図（施工32）（二重殻タンク・タンク室無し）</li> <li>● 標準図（施工33）（タンク室有り）</li> </ul> タンクの保護被覆 <ul style="list-style-type: none"> <li>● ※強化プラスチック</li> <li>● エポキシ樹脂</li> <li>● アスファルト</li> </ul> 基礎杭 <ul style="list-style-type: none"> <li>● ※ 不要</li> <li>● 要（※ 別途工事</li> <li>● 本工事）</li> </ul> 土留め工事 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 要</li> <li>● 不要</li> </ul> タンクローリー用アース端子を設ける。 油面制御装置の機能 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 給油ポンプの起動停止</li> <li>● 満油警報</li> <li>● 減油警報</li> <li>● 機器表特記による。</li> </ul> ● 空調機と機材のフィルターは、ロールの場合は1本、ユニットの場合は1セットを付属品として納入する。 インバーター機の表示された能力は、型番で選定する。 標準仕様書によるほか、中央機械室の冷却水管、冷温水管等の吊り及び支持は防振吊り金物又は防振支持金物で行う。																																							
14 ダクト	● 防火区画を貫通するダクトは、その貫通する部分の前後150mmを1.6mm厚鋼板製とする。																																							
15 吹出口・吸込口	ボックス <ul style="list-style-type: none"> <li>● ※ 垂鉛鉄板製</li> <li>● グラスウール製</li> </ul> シーリングディフューザーの接続は、標準図（施工49）を参考とする。 接続するダクトの施工が困難な場所はフレキシブルダクトを使用してもよい。 線状吹出口には、（長さ+100）×300×300Hの接続チャンパーを設ける。 外壁に面するガラリにチャンパー等を設ける場合には、雨水等を自然に排出できるよう勾配をつける。 吹出口接続チャンパー及び図示したダクト並びにチャンパー類に内貼する。 内貼りチャンパー類の寸法は、外法寸法とする。 吹出口接続チャンパー以外の内貼りしたチャンパーには点検口（原則400×600）を取付ける。 形式はビート管式（コック付）とする。 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 着脱式</li> <li>● 固定式</li> </ul> 下記の箇所、若しくは図示により取付ける。 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 冷凍機類の冷水出口</li> <li>● 瞬間流量計</li> <li>● 測定用タッピング</li> <li>● 冷凍機類の冷却水出口</li> <li>● 瞬間流量計</li> <li>● 測定用タッピング</li> <li>● ボイラー又は熱交換器の温水出口</li> <li>● 瞬間流量計</li> <li>● 測定用タッピング</li> <li>● 冷温水ヘッダーの各送り管</li> <li>● 瞬間流量計</li> <li>● 測定用タッピング</li> <li>● ユニット形空調機の冷水水入口</li> <li>● 瞬間流量計</li> <li>● 測定用タッピング</li> <li>● メカニカル形 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 風速センサー形</li> </ul> </li> </ul> 機器付属以外の温度計 <ul style="list-style-type: none"> <li>● ※工業用バイメタル式</li> <li>● ガード付L形温度計</li> </ul> 空気溜りを生ずると思われる配管箇所には、必要に応じて操作の容易な位置に空気抜き弁装置を設ける。 <ul style="list-style-type: none"> <li>● ※ 手動</li> <li>● 自動</li> </ul> 自動空気抜き弁装置は標準図による。（施工38（g）） 機械室の手動式空気抜き配管の保温は分岐から2mの範囲とする。 トラップ形式はフロートボール式（床置型） <ul style="list-style-type: none"> <li>● ※ FRP製保温型</li> <li>● FRP製</li> <li>● SUS製</li> </ul> 材質及び厚さ <ul style="list-style-type: none"> <li>● SS400（※3.2mm</li> <li>● 4.5mm</li> <li>● SUS（※1.5mm</li> <li>● 2.0mm）</li> </ul> 煤煙濃度計 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 取付け</li> <li>● 取付けない</li> <li>● 取付座を付ける</li> </ul> 煤じん量測定口（80φ×2） <ul style="list-style-type: none"> <li>● ※ 取付け</li> <li>● 取付けない</li> </ul> 油面計はゲージ式（側圧計）とする。 据付け方法 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 標準図（施工32）（二重殻タンク・タンク室無し）</li> <li>● 標準図（施工33）（タンク室有り）</li> </ul> タンクの保護被覆 <ul style="list-style-type: none"> <li>● ※強化プラスチック</li> <li>● エポキシ樹脂</li> <li>● アスファルト</li> </ul> 基礎杭 <ul style="list-style-type: none"> <li>● ※ 不要</li> <li>● 要（※ 別途工事</li> <li>● 本工事）</li> </ul> 土留め工事 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 要</li> <li>● 不要</li> </ul> タンクローリー用アース端子を設ける。 油面制御装置の機能 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 給油ポンプの起動停止</li> <li>● 満油警報</li> <li>● 減油警報</li> <li>● 機器表特記による。</li> </ul> ● 空調機と機材のフィルターは、ロールの場合は1本、ユニットの場合は1セットを付属品として納入する。 インバーター機の表示された能力は、型番で選定する。 標準仕様書によるほか、中央機械室の冷却水管、冷温水管等の吊り及び支持は防振吊り金物又は防振支持金物で行う。																																							
16 チャンパー等	線状吹出口には、（長さ+100）×300×300Hの接続チャンパーを設ける。 外壁に面するガラリにチャンパー等を設ける場合には、雨水等を自然に排出できるよう勾配をつける。 吹出口接続チャンパー及び図示したダクト並びにチャンパー類に内貼する。 内貼りチャンパー類の寸法は、外法寸法とする。 吹出口接続チャンパー以外の内貼りしたチャンパーには点検口（原則400×600）を取付ける。 形式はビート管式（コック付）とする。 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 着脱式</li> <li>● 固定式</li> </ul> 下記の箇所、若しくは図示により取付ける。 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 冷凍機類の冷水出口</li> <li>● 瞬間流量計</li> <li>● 測定用タッピング</li> <li>● 冷凍機類の冷却水出口</li> <li>● 瞬間流量計</li> <li>● 測定用タッピング</li> <li>● ボイラー又は熱交換器の温水出口</li> <li>● 瞬間流量計</li> <li>● 測定用タッピング</li> <li>● 冷温水ヘッダーの各送り管</li> <li>● 瞬間流量計</li> <li>● 測定用タッピング</li> <li>● ユニット形空調機の冷水水入口</li> <li>● 瞬間流量計</li> <li>● 測定用タッピング</li> <li>● メカニカル形 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 風速センサー形</li> </ul> </li> </ul> 機器付属以外の温度計 <ul style="list-style-type: none"> <li>● ※工業用バイメタル式</li> <li>● ガード付L形温度計</li> </ul> 空気溜りを生ずると思われる配管箇所には、必要に応じて操作の容易な位置に空気抜き弁装置を設ける。 <ul style="list-style-type: none"> <li>● ※ 手動</li> <li>● 自動</li> </ul> 自動空気抜き弁装置は標準図による。（施工38（g）） 機械室の手動式空気抜き配管の保温は分岐から2mの範囲とする。 トラップ形式はフロートボール式（床置型） <ul style="list-style-type: none"> <li>● ※ FRP製保温型</li> <li>● FRP製</li> <li>● SUS製</li> </ul> 材質及び厚さ <ul style="list-style-type: none"> <li>● SS400（※3.2mm</li> <li>● 4.5mm</li> <li>● SUS（※1.5mm</li> <li>● 2.0mm）</li> </ul> 煤煙濃度計 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 取付け</li> <li>● 取付けない</li> <li>● 取付座を付ける</li> </ul> 煤じん量測定口（80φ×2） <ul style="list-style-type: none"> <li>● ※ 取付け</li> <li>● 取付けない</li> </ul> 油面計はゲージ式（側圧計）とする。 据付け方法 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 標準図（施工32）（二重殻タンク・タンク室無し）</li> <li>● 標準図（施工33）（タンク室有り）</li> </ul> タンクの保護被覆 <ul style="list-style-type: none"> <li>● ※強化プラスチック</li> <li>● エポキシ樹脂</li> <li>● アスファルト</li> </ul> 基礎杭 <ul style="list-style-type: none"> <li>● ※ 不要</li> <li>● 要（※ 別途工事</li> <li>● 本工事）</li> </ul> 土留め工事 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 要</li> <li>● 不要</li> </ul> タンクローリー用アース端子を設ける。 油面制御装置の機能 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 給油ポンプの起動停止</li> <li>● 満油警報</li> <li>● 減油警報</li> <li>● 機器表特記による。</li> </ul> ● 空調機と機材のフィルターは、ロールの場合は1本、ユニットの場合は1セットを付属品として納入する。 インバーター機の表示された能力は、型番で選定する。 標準仕様書によるほか、中央機械室の冷却水管、冷温水管等の吊り及び支持は防振吊り金物又は防振支持金物で行う。																																							
17 消音内貼り	● 着脱式 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 固定式</li> </ul> 下記の箇所、若しくは図示により取付ける。 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 冷凍機類の冷水出口</li> <li>● 瞬間流量計</li> <li>● 測定用タッピング</li> <li>● 冷凍機類の冷却水出口</li> <li>● 瞬間流量計</li> <li>● 測定用タッピング</li> <li>● ボイラー又は熱交換器の温水出口</li> <li>● 瞬間流量計</li> <li>● 測定用タッピング</li> <li>● 冷温水ヘッダーの各送り管</li> <li>● 瞬間流量計</li> <li>● 測定用タッピング</li> <li>● ユニット形空調機の冷水水入口</li> <li>● 瞬間流量計</li> <li>● 測定用タッピング</li> <li>● メカニカル形 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 風速センサー形</li> </ul> </li> </ul> 機器付属以外の温度計 <ul style="list-style-type: none"> <li>● ※工業用バイメタル式</li> <li>● ガード付L形温度計</li> </ul> 空気溜りを生ずると思われる配管箇所には、必要に応じて操作の容易な位置に空気抜き弁装置を設ける。 <ul style="list-style-type: none"> <li>● ※ 手動</li> <li>● 自動</li> </ul> 自動空気抜き弁装置は標準図による。（施工38（g）） 機械室の手動式空気抜き配管の保温は分岐から2mの範囲とする。 トラップ形式はフロートボール式（床置型） <ul style="list-style-type: none"> <li>● ※ FRP製保温型</li> <li>● FRP製</li> <li>● SUS製</li> </ul> 材質及び厚さ <ul style="list-style-type: none"> <li>● SS400（※3.2mm</li> <li>● 4.5mm</li> <li>● SUS（※1.5mm</li> <li>● 2.0mm）</li> </ul> 煤煙濃度計 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 取付け</li> <li>● 取付けない</li> <li>● 取付座を付ける</li> </ul> 煤じん量測定口（80φ×2） <ul style="list-style-type: none"> <li>● ※ 取付け</li> <li>● 取付けない</li> </ul> 油面計はゲージ式（側圧計）とする。 据付け方法 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 標準図（施工32）（二重殻タンク・タンク室無し）</li> <li>● 標準図（施工33）（タンク室有り）</li> </ul> タンクの保護被覆 <ul style="list-style-type: none"> <li>● ※強化プラスチック</li> <li>● エポキシ樹脂</li> <li>● アスファルト</li> </ul> 基礎杭 <ul style="list-style-type: none"> <li>● ※ 不要</li> <li>● 要（※ 別途工事</li> <li>● 本工事）</li> </ul> 土留め工事 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 要</li> <li>● 不要</li> </ul> タンクローリー用アース端子を設ける。 油面制御装置の機能 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 給油ポンプの起動停止</li> <li>● 満油警報</li> <li>● 減油警報</li> <li>● 機器表特記による。</li> </ul> ● 空調機と機材のフィルターは、ロールの場合は1本、ユニットの場合は1セットを付属品として納入する。 インバーター機の表示された能力は、型番で選定する。 標準仕様書によるほか、中央機械室の冷却水管、冷温水管等の吊り及び支持は防振吊り金物又は防振支持金物で行う。																																							
18 瞬間流量計及び流量測定口	● 着脱式 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 固定式</li> </ul> 下記の箇所、若しくは図示により取付ける。 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 冷凍機類の冷水出口</li> <li>● 瞬間流量計</li> <li>● 測定用タッピング</li> <li>● 冷凍機類の冷却水出口</li> <li>● 瞬間流量計</li> <li>● 測定用タッピング</li> <li>● ボイラー又は熱交換器の温水出口</li> <li>● 瞬間流量計</li> <li>● 測定用タッピング</li> <li>● 冷温水ヘッダーの各送り管</li> <li>● 瞬間流量計</li> <li>● 測定用タッピング</li> <li>● ユニット形空調機の冷水水入口</li> <li>● 瞬間流量計</li> <li>● 測定用タッピング</li> <li>● メカニカル形 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 風速センサー形</li> </ul> </li> </ul> 機器付属以外の温度計 <ul style="list-style-type: none"> <li>● ※工業用バイメタル式</li> <li>● ガード付L形温度計</li> </ul> 空気溜りを生ずると思われる配管箇所には、必要に応じて操作の容易な位置に空気抜き弁装置を設ける。 <ul style="list-style-type: none"> <li>● ※ 手動</li> <li>● 自動</li> </ul> 自動空気抜き弁装置は標準図による。（施工38（g）） 機械室の手動式空気抜き配管の保温は分岐から2mの範囲とする。 トラップ形式はフロートボール式（床置型） <ul style="list-style-type: none"> <li>● ※ FRP製保温型</li> <li>● FRP製</li> <li>● SUS製</li> </ul> 材質及び厚さ <ul style="list-style-type: none"> <li>● SS400（※3.2mm</li> <li>● 4.5mm</li> <li>● SUS（※1.5mm</li> <li>● 2.0mm）</li> </ul> 煤煙濃度計 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 取付け</li> <li>● 取付けない</li> <li>● 取付座を付ける</li> </ul> 煤じん量測定口（80φ×2） <ul style="list-style-type: none"> <li>● ※ 取付け</li> <li>● 取付けない</li> </ul> 油面計はゲージ式（側圧計）とする。 据付け方法 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 標準図（施工32）（二重殻タンク・タンク室無し）</li> <li>● 標準図（施工33）（タンク室有り）</li> </ul> タンクの保護被覆 <ul style="list-style-type: none"> <li>● ※強化プラスチック</li> <li>● エポキシ樹脂</li> <li>● アスファルト</li> </ul> 基礎杭 <ul style="list-style-type: none"> <li>● ※ 不要</li> <li>● 要（※ 別途工事</li> <li>● 本工事）</li> </ul> 土留め工事 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 要</li> <li>● 不要</li> </ul> タンクローリー用アース端子を設ける。 油面制御装置の機能 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 給油ポンプの起動停止</li> <li>● 満油警報</li> <li>● 減油警報</li> <li>● 機器表特記による。</li> </ul> ● 空調機と機材のフィルターは、ロールの場合は1本、ユニットの場合は1セットを付属品として納入する。 インバーター機の表示された能力は、型番で選定する。 標準仕様書によるほか、中央機械室の冷却水管、冷温水管等の吊り及び支持は防振吊り金物又は防振支持金物で行う。																																							
19 定風量・変風量ユニット	● 着脱式 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 固定式</li> </ul> 下記の箇所、若しくは図示により取付ける。 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 冷凍機類の冷水出口</li> <li>● 瞬間流量計</li> <li>● 測定用タッピング</li> <li>● 冷凍機類の冷却水出口</li> <li>● 瞬間流量計</li> <li>● 測定用タッピング</li> <li>● ボイラー又は熱交換器の温水出口</li> <li>● 瞬間流量計</li> <li>● 測定用タッピング</li> <li>● 冷温水ヘッダーの各送り管</li> <li>● 瞬間流量計</li> <li>● 測定用タッピング</li> <li>● ユニット形空調機の冷水水入口</li> <li>● 瞬間流量計</li> <li>● 測定用タッピング</li> <li>● メカニカル形 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 風速センサー形</li> </ul> </li> </ul> 機器付属以外の温度計 <ul style="list-style-type: none"> <li>● ※工業用バイメタル式</li> <li>● ガード付L形温度計</li> </ul> 空気溜りを生ずると思われる配管箇所には、必要に応じて操作の容易な位置に空気抜き弁装置を設ける。 <ul style="list-style-type: none"> <li>● ※ 手動</li> <li>● 自動</li> </ul> 自動空気抜き弁装置は標準図による。（施工38（g）） 機械室の手動式空気抜き配管の保温は分岐から2mの範囲とする。 トラップ形式はフロートボール式（床置型） <ul style="list-style-type: none"> <li>● ※ FRP製保温型</li> <li>● FRP製</li> <li>● SUS製</li> </ul> 材質及び厚さ <ul style="list-style-type: none"> <li>● SS400（※3.2mm</li> <li>● 4.5mm</li> <li>● SUS（※1.5mm</li> <li>● 2.0mm）</li> </ul> 煤煙濃度計 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 取付け</li> <li>● 取付けない</li> <li>● 取付座を付ける</li> </ul> 煤じん量測定口（80φ×2） <ul style="list-style-type: none"> <li>● ※ 取付け</li> <li>● 取付けない</li> </ul> 油面計はゲージ式（側圧計）とする。 据付け方法 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 標準図（施工32）（二重殻タンク・タンク室無し）</li> <li>● 標準図（施工33）（タンク室有り）</li> </ul> タンクの保護被覆 <ul style="list-style-type: none"> <li>● ※強化プラスチック</li> <li>● エポキシ樹脂</li> <li>● アスファルト</li> </ul> 基礎杭 <ul style="list-style-type: none"> <li>● ※ 不要</li> <li>● 要（※ 別途工事</li> <li>● 本工事）</li> </ul> 土留め工事 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 要</li> <li>● 不要</li> </ul> タンクローリー用アース端子を設ける。 油面制御装置の機能 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 給油ポンプの起動停止</li> <li>● 満油警報</li> <li>● 減油警報</li> <li>● 機器表特記による。</li> </ul> ● 空調機と機材のフィルターは、ロールの場合は1本、ユニットの場合は1セットを付属品として納入する。 インバーター機の表示された能力は、型番で選定する。 標準仕様書によるほか、中央機械室の冷却水管、冷温水管等の吊り及び支持は防振吊り金物又は防振支持金物で行う。																																							
20 温度計	● 着脱式 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 固定式</li> </ul> 下記の箇所、若しくは図示により取付ける。 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 冷凍機類の冷水出口</li> <li>● 瞬間流量計</li> <li>● 測定用タッピング</li> <li>● 冷凍機類の冷却水出口</li> <li>● 瞬間流量計</li> <li>● 測定用タッピング</li> <li>● ボイラー又は熱交換器の温水出口</li> <li>● 瞬間流量計</li> <li>● 測定用タッピング</li> <li>● 冷温水ヘッダーの各送り管</li> <li>● 瞬間流量計</li> <li>● 測定用タッピング</li> <li>● ユニット形空調機の冷水水入口</li> <li>● 瞬間流量計</li> <li>● 測定用タッピング</li> <li>● メカニカル形 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 風速センサー形</li> </ul> </li> </ul> 機器付属以外の温度計 <ul style="list-style-type: none"> <li>● ※工業用バイメタル式</li> <li>● ガード付L形温度計</li> </ul> 空気溜りを生ずると思われる配管箇所には、必要に応じて操作の容易な位置に空気抜き弁装置を設ける。 <ul style="list-style-type: none"> <li>● ※ 手動</li> <li>● 自動</li> </ul> 自動空気抜き弁装置は標準図による。（施工38（g）） 機械室の手動式空気抜き配管の保温は分岐から2mの範囲とする。 トラップ形式はフロートボール式（床置型） <ul style="list-style-type: none"> <li>● ※ FRP製保温型</li> <li>● FRP製</li> <li>● SUS製</li> </ul> 材質及び厚さ <ul style="list-style-type: none"> <li>● SS400（※3.2mm</li> <li>● 4.5mm</li> <li>● SUS（※1.5mm</li> <li>● 2.0mm）</li> </ul> 煤煙濃度計 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 取付け</li> <li>● 取付けない</li> <li>● 取付座を付ける</li> </ul> 煤じん量測定口（80φ×2） <ul style="list-style-type: none"> <li>● ※ 取付け</li> <li>● 取付けない</li> </ul> 油面計はゲージ式（側圧計）とする。 据付け方法 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 標準図（施工32）（二重殻タンク・タンク室無し）</li> <li>● 標準図（施工33）（タンク室有り）</li> </ul> タンクの保護被覆 <ul style="list-style-type: none"> <li>● ※強化プラスチック</li> <li>● エポキシ樹脂</li> <li>● アスファルト</li> </ul> 基礎杭 <ul style="list-style-type: none"> <li>● ※ 不要</li> <li>● 要（※ 別途工事</li> <li>● 本工事）</li> </ul> 土留め工事 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 要</li> <li>● 不要</li> </ul> タンクローリー用アース端子を設ける。 油面制御装置の機能 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 給油ポンプの起動停止</li> <li>● 満油警報</li> <li>● 減油警報</li> <li>● 機器表特記による。</li> </ul> ● 空調機と機材のフィルターは、ロールの場合は1本、ユニットの場合は1セットを付属品として納入する。 インバーター機の表示された能力は、型番で選定する。 標準仕様書によるほか、中央機械室の冷却水管、冷温水管等の吊り及び支持は防振吊り金物又は防振支持金物で行う。																																							
21 冷温水管の空気抜き	● 着脱式 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 固定式</li> </ul> 下記の箇所、若しくは図示により取付ける。 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 冷凍機類の冷水出口</li> <li>● 瞬間流量計</li> <li></li></ul>																																							

工事概要

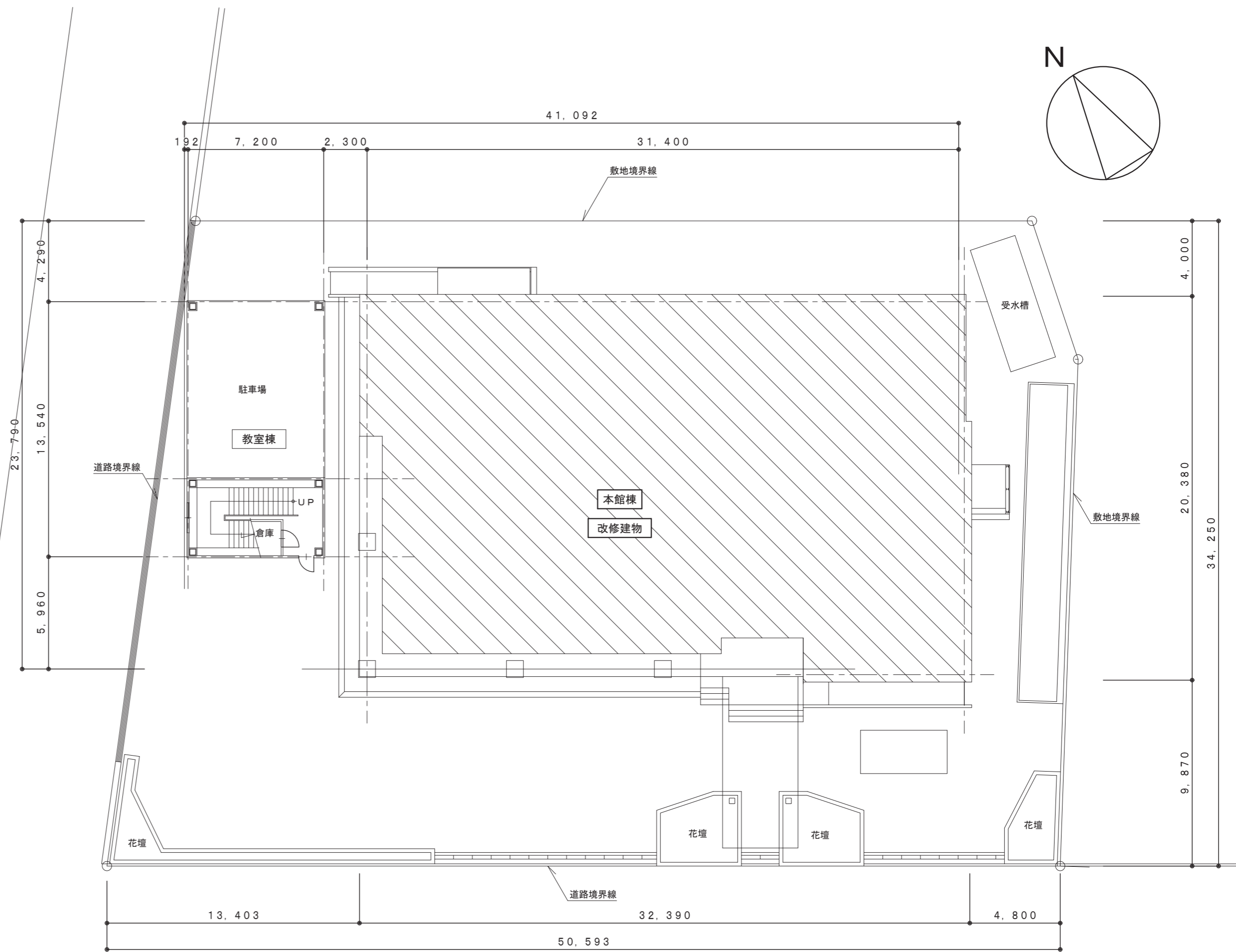
- 2階トイレの污水管を更新する  
※1階天井内污水管を更新（PS立管までの横引管を更新）  
スラブ下からの配管を改修対象とする  
PS内の污水立管は改修対象外
- 污水管更新に伴い、1階トイレの天井ボードを撤去新設する  
※1階トイレの天井改修に伴い、照明器具、  
天井埋込形換気扇の天井グリルの取外し再取付けを行う

工事留意事項

- 工事は夏季休暇中に行うことを基本とするが、日程については施設管理者と協議のうえ決定すること  
※基本的に、工事期間中はトイレ使用禁止とする



付近見取図



配置図 S=1/200



有限会社 福田設備設計

〒689-1115 鳥取市紙子谷10番地4 TEL:0857-51-8240 FAX:0857-53-4669

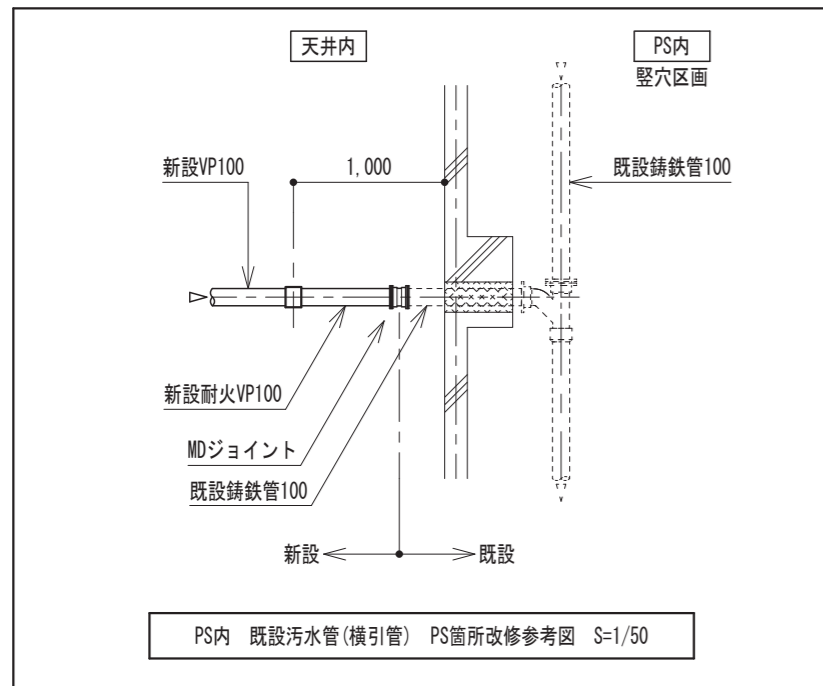
管理建築士 福田洋之  
一級建築士 第376077号  
担当者 福田洋之  
設備設計一級建築士 第5962号

CHECK 福田  
DRAW 福田

県立歯科衛生専門学校2階污水管更新工事  
付近見取図、配置図、工事概要

SCALE 1/200  
No M-03  
DATE

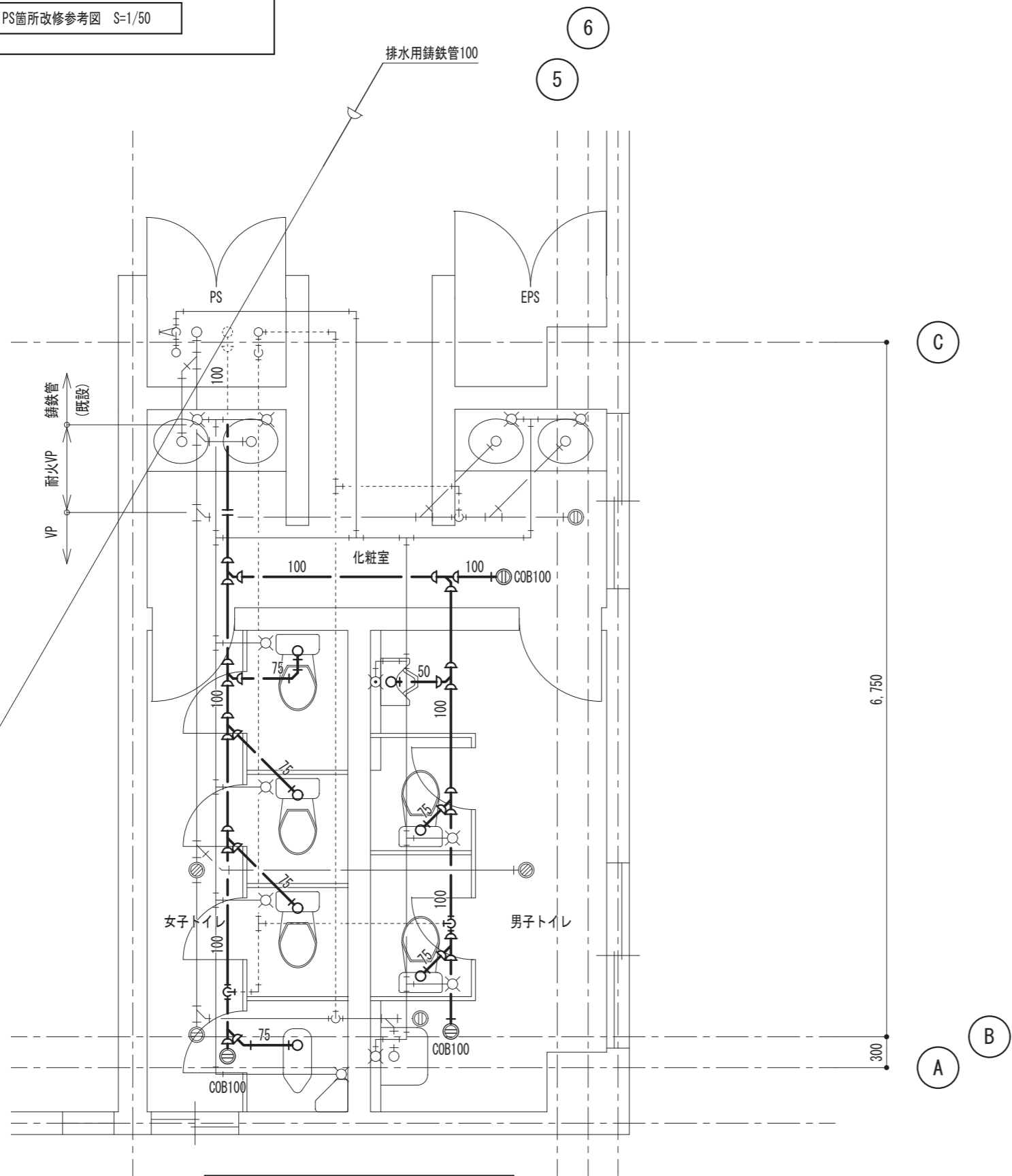




**既設管接続**

<2階男子便所>		※スラブ下にて既設配管と新設配管を接続		数量
洋風便器	既設管: VP75	スラブ下にて新設VP75接続		2
壁掛小便器	既設管: 鉛管50	変換継手を使用 (参考: MYジョイント)		1
掃除口	既設管: SGP(白)100	スラブ下にて新設耐火VP100と接続		2
COB100	※掃除口部分は、スラブ下貫通後から1mまで耐火VP100を使用			
<2階女子便所>		※スラブ下にて既設配管と新設配管を接続		数量
和風便器	既設管: 鉛管75	鉛管(フランジ共)撤去、塩ビ管(フランジ共)新設		1
洋風便器	既設管: VP75	スラブ下にて新設VP75接続		3
掃除口	既設管: SGP(白)100	スラブ下にて新設耐火VP100と接続		1
COB100	※掃除口部分は、スラブ下貫通後から1mまで耐火VP100を使用			

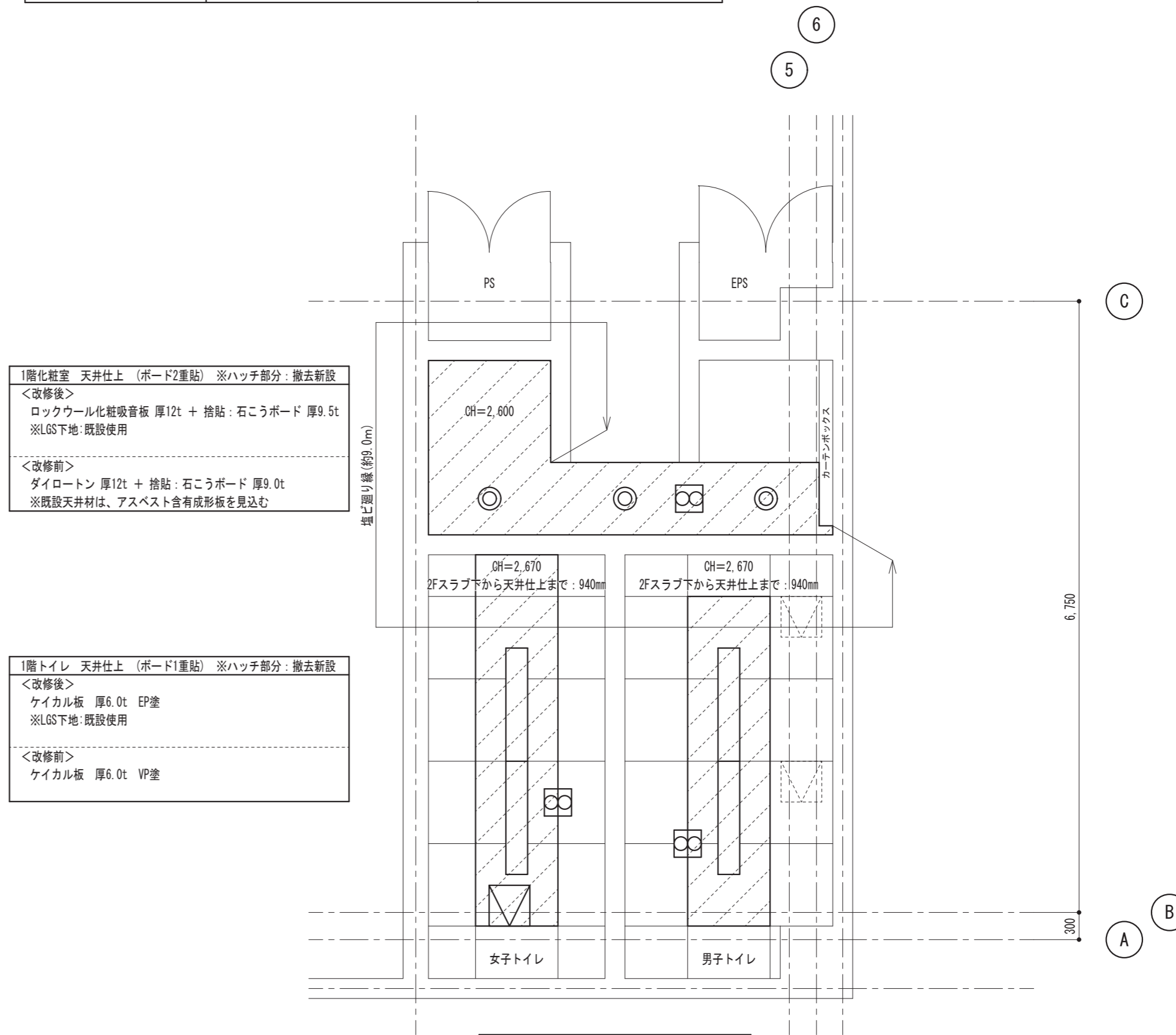
※上表の器具は、既設のまま(改修無し)とし、スラブ下配管を改修対象とする



※既設汚水管: 排水鉄鉄管(小便器、和風便器接続部は鉛管) → VPIに改修する  
 ※既設掃除口(COB100)箇所については、スラブ貫通箇所から1mまでを耐火VPとする(既設管はSGP(白))  
 ※通気管(VP50)は、既設通気管(SGP(白)50)に接続する

**凡例**

	既設照明器具取外し再取付け	天井埋込形 FL40W-1
	既設照明器具取外し再取付け	ダウンライト(天井埋込)φ100
	既設換気扇グリル取外し再取付け	天井埋込形換気扇
	既設天井点検口取外し再取付け	アルミ額縁 450×450
	既設天井点検口	※既設のまま



**1階化粧室 天井仕上 (ボード2重貼) ※ハッチ部分: 撤去新設**  
 <改修後>  
 ロックウール化粧吸音板 厚12t + 捨貼: 石こうボード 厚9.5t  
 ※LGS下地: 既設使用  
 <改修前>  
 ダイロートン 厚12t + 捨貼: 石こうボード 厚9.0t  
 ※既設天井材は、アスベスト含有成形板を見込む

**1階トイレ 天井仕上 (ボード1重貼) ※ハッチ部分: 撤去新設**  
 <改修後>  
 ケイカル板 厚6.0t EP塗  
 ※LGS下地: 既設使用  
 <改修前>  
 ケイカル板 厚6.0t VP塗



**有限会社 福田設備設計**  
 〒689-1115 鳥取市紙子谷1-0番地4 TEL:0857-51-8240 FAX:0857-53-4669

管理建築士 一級建築士 第376077号 担当者 設備設計一級建築士 第5962号	福田 洋之 福田 洋之	CHECK DRAW 福田 福田	県立歯科衛生専門学校2階汚水管更新工事 2階トイレ配管図、1階トイレ天井伏図	SCALE 1/50	No M-05 DATE
--	----------------	------------------------	---	---------------	--------------------